

【診療科:消化器外科】  
 【レジメン登録番号:SG-40】

〈 FOLFIRI (+ペバシズマブBS) 療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)														
			1	2	3	4	5	6	7	8	.....	.....	.....	.....	14		
ペバシズマブBS	5mg/kg	メインdiv	○														
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	メインdiv	○														
イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup>	側管div	○														
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	メインdiv	○														
フルオロウラシル	2400mg/m <sup>2</sup>	ci ( or div )	○														

【1コース期間: 14 日】 【総コース数: コース】

【適応癌種: 結腸・直腸癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<第1日目>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.0	YD-ソリタT3 200mL	
Rp.1	5-HT <sub>3</sub> R Blocker 1A	メインdiv(15分で)
	デキサート 6.6mg	
	生理食塩水 50mL	
Rp.2	ペバシズマブBS 5mg/kg	メインdiv(90~30分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	レボホリナート 200mg/m <sup>2</sup>	メインdiv(2時間で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.3	イリノテカン 150mg/m <sup>2</sup>	側管div(90分で)
	生理食塩水 500mL	
Rp.4	フルオロウラシル 400mg/m <sup>2</sup>	div(10分以内で)
	5%ブドウ糖液 100mL	
Rp.5	フルオロウラシル 2400mg/m <sup>2</sup>	ci(2.5mL/h、46時間で)
	生理食塩水(別紙希釈表により注入)	

【参考文献:JSCCR Guidelines 2010 for the Treatment of Colorectal Cancer】

【備考①:イリノテカンとレボホリナートは同時投与。】

【備考②:Rp.6はインフューザーポンプ使用を原則とする。ポートがない場合は入院で施行する場合もある。入院の場合は、5-FU 2400mg/m<sup>2</sup> + 生理食塩水 500mL div(46時間で)】

【備考③:インフューザーポンプは、バクスターSV2. 5を使用。】

【変法情報:】